

**泉区地域子育て支援拠点事業
平成28年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

事業実施期間	平成28年4月1日～29年3月31日(4年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ちよこつといずみ 泉区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生き育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 ○○区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることのできる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

1 平成28年度重点目標の評価

平成28年度重点目標	利用者支援事業(横浜子育てパートナー)を幅広く区民に周知し、子育て中の家庭に相談の窓口として広く認知され、地域の子育て支援機関や関係者と協働の関係づくりができる土台をつくることを目指します。
取組内容	・子育てパートナーについて、拠点のニュースレターやホームページ等で年間を通して広報します。 ・拠点の「場」を活用し、利用者に子育てパートナーの周知を行い、相談しやすい関係づくりに努めます。 ・子育てサロンやつどいの広場、保育園や幼稚園など地域の子育て支援の場に出向いて広報活動を行いつつ、関係者と顔の見える関係づくりを行います。
取組の成果	・拠点のニュースレター(2016年2月号、2017年3月号)に特集記事を掲載したり、年間を通じて周知欄を設けたり、またホームページで広報を行ったことで、養育者や地域で活動している支援関係者の方々にパートナーを知ってもらい、周知が出来た。 ・拠点の事業や新規利用者の説明の際に周知し、また実際にパートナーがひろば(居場所)に居ることで利用者に周知され、相談依頼に繋がった。 ・区内の関係機関(児童家庭支援センター、地域活動ホーム、幼稚園・保育園園長会、、子育てサロン、つどいの広場など)や、関係者(子育て支援者、障害児の自助グループ、多胎児の親のサークルなど)を訪問することで、顔の見える関係づくりが出来てきている。 ・カードサイズの広報物を作成し、拠点利用者や訪問した関係機関に周知を行った。また、薬剤師会の協力を得て、泉区内の薬局に拠点リーフレットと共に配架を依頼できた。 ・関係機関はもとより、拠点の事業(ひろば相談、子サポ、マタニティ向け事業など)につなげ、拠点全体で対応していくという認識がスタッフ間に共有されつつある。
取組の課題	・これまでに訪問出来ない区内の施設・子育てサロンなどを訪問し、周知するとともに顔の見える関係づくりを引き続き行う。 ・カードサイズの広報物を更に活用し、関係機関や施設に配架を依頼して、周知の幅を広げる。 ・わかりやすく手にとりやすいチラシを作成し、地域の子育て支援の場などで配布し、周知していく。 ・養育者に向けて、どのような相談が出来るのか、わかりやすく伝えていく。 ・子育て家庭や支援に関わる方に向けて、満足度や要望などの調査や聞き取りは適宜行っていく。

2 次年度重点目標

事業評価実施年度につき、重点目標は設定しない